

「宇都宮歌壇の謎—奇跡の文化圏—」に関する本



『宇都宮市史 2 中世史料編』 (宇都宮市史編さん委員会／編 1980) 【K210/ウ】

宇都宮市の歴史を調べるための史料集。中世における宇都宮氏に関連する文書や記録類が掲載されている。第一章において宇都宮頼綱(蓮生)の文書、第二章において新和歌集の一部が紹介されている。

『宇都宮市史 3 中世通史編』 (宇都宮市史編さん委員会／編 1981) 【K210/ウ】

宇都宮市の歴史を調べるための基本資料。中世における宇都宮氏の盛衰について取り上げている。「第四章 宇都宮歌壇の誕生」において宇都宮歌壇の展開や新和歌集についての記載がある。

『宇都宮氏歴代の足跡 多気山城ができるまで』

(石川速夫／著 宇都宮市制百周年城山地区地域イベント実行委員会 1997) 【K210.4/イ】

宇都宮市制100年記念事業の一環として、城山地区が企画・刊行した。宇都宮氏22代の業績をまとめた、宇都宮歌壇についても触れている。

『うつのみや重宝記 第1～30号』

(うつのみや重宝記編集委員会／編 随想舎 1988) 【K205/ウ】

第4号、石川速夫「宇都宮歌壇」において、宇都宮氏と京都文化の関わりや宇都宮歌壇の成果などが述べられている。

『宇都宮城物語』 (福田三男／著 下野新聞社 2007) 【213.2/フ】 【K210/フ】

「第1部 中世の宇都宮城」において、宇都宮歌壇、小倉百人一首など、宇都宮氏の活躍を、さまざまな項目ごとに分かりやすく紹介している。

『位牌寺一向寺 名門下野宇都宮家二十二代記』 (島遼伍／著 一向寺 2009) 【K288/シ】

栃木県の歴史を主なテーマとする作家が、宇都宮氏歴代当主の生い立ちや業績などを紹介している。発行の一向寺は宇都宮氏累代の位牌寺。

『下野・宇都宮一族』 (七宮洋〔ケイ〕三 新人物往来社 2006) 【K288/シ】

文人として下野の豪族の地位を確立した宇都宮氏の、動乱に満ちた戦国期の盛衰をたどっている。

『百人一首ゆかりの宇都宮頼綱とその時代』 (宇都宮市教育委員会 2014) 【K202/ウ】

御家人や歌人としての宇都宮頼綱(蓮生)や宇都宮歌壇についての紹介のほか、県内の城跡について紹介している。

『中世宇都宮氏の世界 下野・豊前・伊予の時空を翔る』

(市村高男／編著 彩流社 2013) 【K288/イ】

下野・豊前・伊予の宇都宮氏を合わせて、その系譜・政治・社会・文化について、これまでの研究成果をまとめたもの。「中世宇都宮氏の成立と展開」において宇都宮頼綱と藤原定家の関係について記載がある。

『あなたの知らない栃木県の歴史』

(山本博文/監修 洋泉社 2013) 【K200/ヤ】

栃木県の古代～近代史入門。古代から近代まで、栃木県の歴史をわかりやすく紹介。歴史の流れと、歴史上の人物、歴史的な大事件が手軽にわかる1冊。

『名城 宇都宮城 しろとまちの移り変わり』(栃木県立博物館／編 2006) 【K520/ト】

タイトルの企画展の図録。中世から近現代までの宇都宮城と城下に関連する資料を集めている。

「2 中世・戦国期の宇都宮城」に新和歌集の記述がある。

『栃木県謎解き散歩』

(福田三男／編著 新人物往来社 2012) 【K290/フ】

P92～93 新川武紀／著「宇都宮頼綱(蓮生)と藤原定家の親交が小倉百人一首を生んだ—宇都宮歌壇の隆盛」において宇都宮歌壇の成立の背景や歌集について説明している。

『甦る。宇都宮城物語 ～中世から近世へ、宇都宮をつくった武将たち～』

(ジェイアール東日本企画 トランヴェール編集部／編 2008) 【K210/ジ】

宇都宮氏の時代や宇都宮城ゆかりの地を巡り、中世の宇都宮の歴史をさぐる。

『ふるさと栃木県の歩み』

(栃木県教育委員会/編 栃木県文化振興事業団 1986) 【K200/ト】

栃木県の歴史が手軽に学べるように編纂された県史の普及版。P123～124 で宇都宮歌壇と宇都宮氏の歌集について触れられている。

『中世宇都宮氏～頼朝・尊氏・秀吉を支えた名族～』

(天地人 2017年8月号特集 宇都宮商工会議所 2017) 【288.3/ハ】 【K288/ハ】

栃木県立博物館企画展の特集。中世宇都宮氏の歴史、宗教、ゆかりの地などを紹介。

館内閲覧のみの資料も含まれています。

この他にも資料がありますので、図書館職員に

お気軽にご相談ください。

宇都宮市立中央図書館

〒320-0845

宇都宮市明保野町7番57号

TEL : 028-636-0231 FAX : 028-639-0740

9:30～19:00 (金曜休館)
